

原点・悶え・村

谷川雁と石牟礼道子の 九州的思考

私たちは時に消えてしまいたくなるほどのこの嫌な世界で、どう生きていけば良いのでしょうか。その根拠地を考えた人たちがいます。谷川雁や石牟礼道子は、「原点」や「村」に立脚し、そこで「悶え」ることで、私たちがどのような世界を良くすることができるのかを考えた先達です。この先達の声や言葉に耳を傾けて、私たちは私たちに、この世界を良くしてゆく思考を鍛えることができればと思います。

日時：11月1日（月）～11月30日（火）

期間限定配信どなたでもご視聴いただけます。

- ① <https://commons.muc.meiji.jp/em/617174ac369f1>
- ② <https://commons.muc.meiji.jp/em/616836f2dd70e>
- ③ <https://commons.muc.meiji.jp/em/616831e3c6993>
- ④ <https://commons.muc.meiji.jp/em/61683dce6059>
- ⑤ <https://commons.muc.meiji.jp/em/616832038ee9b>

講師：森 元斎 長崎大学准教授

講師プロフィール：

1983年、東京生まれ、中央大学文学部哲学科卒業
大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了、博士（人間科学）
長崎大学大学院多文化社会学研究科・多文化社会学部准教授
著書に『具体性の哲学』（以文社2015年）、『アナキズム入門』（筑摩書房2017年）
『国道3号線』（共和国2020年）、『もう革命しかないもんね』（晶文社2021年）
共訳書に『ギリシア デフォルト宣言』（河出書房新社2015年）、
『思弁的実在論入門』（人文書院2020年）、『反転する革命』（以文社 近刊）

コーディネーター：岩野卓司 教養デザイン研究科・法学部教授